



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月29日

上場会社名 株式会社 ドリコム 上場取引所 東
コード番号 3793 URL <https://drecom.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 内藤 裕紀
問合せ先責任者 （役職名） 取締役 （氏名） 後藤 英紀 TEL 050-3101-9977
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	4,355	△2.5	522	—	512	—	323	—
2026年3月期第1四半期	4,466	110.4	△81	—	△107	—	△1,799	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 323百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △1,799百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	11.21	11.21
2026年3月期第1四半期	△62.60	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	11,067	5,269	47.0	181.44
2026年3月期	11,876	5,043	42.0	172.26

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 5,201百万円 2026年3月期 4,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	18,000	2.6	1,000	144.7	900	182.2	600	180.8	21.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	29,446,212株	2026年3月期	29,446,212株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	780,495株	2026年3月期	516,395株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	28,839,897株	2026年3月期1Q	28,740,217株

（注）株式会社日本カストディ銀行（以下、「ESOP信託口」という。）が所有する当社株式480,400株（議決権の数4,804個）につきましては、上記期末自己株式数に含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2026年7月29日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「with entertainment」をミッションとして掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、グローバルで、リアルとデジタルの融合によりIPをプロデュースする企業となっていくことを掲げており、IPの創出・育成を通じた持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運用が主要事業となっており、当社が国内外の商標権を保有する「Wizardry」IPのゲーム開発・運用及びブランド管理を行うほか、他社IPゲーム、ゲームプラットフォーム、オリジナルゲームの開発・運用を行っております。

また、コンテンツ事業においては、IPの創出、育成、収益化を目的として小説、コミックス等の書籍、電子書籍の出版、販売、アニメの企画・プロデュース、グッズの企画・販売などに取り組むとともに、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新たなサービスの開発を進めております。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高4,355,148千円（前年同期比2.5%減）、営業利益522,862千円（前年同期は営業損失81,723千円）、経常利益512,195千円（前年同期は経常損失107,604千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益323,330千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,799,068千円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの業績は以下のとおりです。

ゲーム事業

ゲーム事業においては、2024年10月にリリースした自社配信タイトル『Wizardry Variants Daphne』及び12周年を迎えたIPタイトルを中心に、運用中の複数のタイトルから収益を獲得しております。なお、2026年3月期末にゲーム事業セグメントの子会社2社を売却したことに伴い、運用タイトル本数は11本から9本に減少しております。また、IPの創出・育成を目的として、PC・コンソールゲームの開発及びインディーゲームパブリッシングの取り組みを開始しております。

売上高につきましては、運用中の主力2タイトルが周年施策等により好調に推移したものの、前期末の連結子会社の売却により、前年同期比で減少となりました。

利益につきましては、前年同期に新規タイトルのリリースに伴い発生していたソフトウェア償却費及び広告宣伝費等が減少し不採算タイトルの赤字幅が縮小したことに加え、決済手数料率の低下を主因として採算性が向上したことにより、前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は4,145,256千円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は793,771千円（同545.7%増）となりました。

コンテンツ事業

コンテンツ事業においては、IPの創出、育成、収益化を目的として出版事業・アニメ事業・MD（マーチャンダイジング）事業に取り組んでおり、ライトノベル及びコミックスの刊行、WEBマンガサイト「ドリコム+」の運営、アニメの企画・プロデュース、グッズの企画・販売などを行っております。また、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新たなサービス開発として、位置情報連動型ウォーキングポイントアプリの運用等を実施しております。

売上高につきましては、主に出版事業において、編集体制を強化し、オリジナルコミックスを含め刊行点数が増加したことや、シリーズ累計40万部を超える人気作品を複数輩出できていること等により、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、出版事業・アニメ事業・MD事業やテクノロジーを活用した新たなサービス開発などの新規事業領域への投資を継続しており、新シリーズの刊行増加に伴う制作費や、IPプロデュース人材の採用等により費用が先行しているため、セグメント損失額は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は209,893千円（前年同期比35.3%増）、セグメント損失は270,908千円（前年同期はセグメント損失204,661千円）となりました。

今後につきましては、ゲーム事業において、『Wizardry Variants Daphne』を中心に、配信地域の拡大やメディアミックス展開、新たなコンテンツの開発等を通じて「Wizardry」ブランドのユーザー層と経済規模の拡大を図ってまいります。その他の運用タイトルにつきましても、強固な事業基盤を作るべく、追加投資や体制

強化等を通じて長期安定的な収益の確保に努めるほか、新規タイトルのパイプラインの検討を進めてまいります。また、ゲーム事業においてもIPを創出することを目的として、PC・コンソールゲームの開発及びパブリッシングの取り組みを強化してまいります。

コンテンツ事業においては、出版事業・アニメ事業において、多くの挑戦から継続的に作品を創出し、アニメ化等を通じて注力作品の売上規模を拡大することによる成長を目指してまいります。あわせて、MD事業の本格展開や、先進的なテクノロジーを活用した新たなサービスの開発を積極的に進めてまいります。

また、全社的な取り組みとして、AIを前提に業務プロセスを見直す組織への転換を進めております。定型的な業務でAIを活用することで、人は人にしかできない意思決定や創造的な領域に注力し、クリエイターと共に、生み出すコンテンツの量と質を高めることができると考えております。なお、著作権をはじめとするAIの活用に伴うリスクには慎重に対応しながら、こうした取り組みを中長期的な企業価値の向上につなげてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は8,568,429千円となり、前連結会計年度末に比べ658,288千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が921,811千円減少したことによるものであります。固定資産は2,499,367千円となり、前連結会計年度末に比べ149,966千円減少いたしました。これは主にソフトウェアが240,485千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は11,067,796千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,169,658千円となり、前連結会計年度末に比べ894,308千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が337,534千円減少、1年内返済予定の長期借入金が273,500千円減少、未払金が165,640千円減少したことによるものであります。固定負債は628,721千円となり、前連結会計年度末に比べ140,060千円減少いたしました。これは主に長期借入金が156,500千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,798,379千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,269,417千円となり、前連結会計年度末に比べ226,113千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益323,330千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は47.0%（前連結会計年度末は42.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期につきましては、IP創出・育成による持続的な売上成長に向けた投資を継続すべく、既存事業の効率化による収益性の向上と、中期的に目指す姿の実現に向けた事業進捗の達成を目指しております。

ゲーム事業においては、2026年3月期末に当事業セグメントの連結子会社2社を売却しており、当該2社の収益分が減少いたしますが、引き続き運用を行うゲームタイトル9本の売上維持及び売り切り型のPC・コンソールゲームタイトルの展開による売上高の増加を目指してまいります。また、利益につきましては、不採算タイトルの赤字幅の縮小及び広告宣伝費の最適化を行うことで利益率の改善を目指してまいります。

コンテンツ事業においては、出版事業・アニメ事業・MD（マーチャンダイジング）事業の進展及び当社が有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新たなサービス開発の進展による売上高の増加を目指してまいります。また、利益につきましては、IPプロデュース領域等の新規事業へ投資を行っており、費用先行が継続する見込みです。

上記を踏まえて、2027年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高18,000,000千円（前期比2.6%増）、営業利益1,000,000千円（同144.7%増）、経常利益900,000千円（同182.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益600,000千円（同180.8%増）を見込んでおります。

また、当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、利益還元の水準については経営成績及び財務状況の推移や、研究開発投資等の実施状況及び今後の計画を十分に勘案して決定しております。2027年3月期の配当予想につきましては、上記のとおり利益水準を見込んでいることや、事業構造の転換を通じて財務基盤の安定化が進んでいること等を総合的に勘案し、1株当たり5円の期末配当を見込

んでおります。今後につきましても、中長期的な企業価値向上を目的とし、将来に向けた成長投資と株主還元
の両立を目指してまいります。

なお、連結業績予想及び配当予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作
成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,375,283	5,453,472
売掛金	2,176,890	2,126,326
商品	12,729	15,538
仕掛品	93,832	102,002
前払費用	341,753	286,496
その他	270,228	628,592
貸倒引当金	△44,000	△44,000
流動資産合計	9,226,718	8,568,429
固定資産		
有形固定資産		
建物	191,666	192,154
減価償却累計額	△112,582	△123,290
建物(純額)	79,084	68,863
工具、器具及び備品	146,290	161,244
減価償却累計額	△89,771	△97,657
工具、器具及び備品(純額)	56,519	63,587
リース資産	7,232	7,232
減価償却累計額	△6,407	△6,682
リース資産(純額)	825	550
有形固定資産合計	136,428	133,001
無形固定資産		
ソフトウェア	952,832	712,346
ソフトウェア仮勘定	151,335	234,728
その他	83,975	56,788
無形固定資産合計	1,188,143	1,003,864
投資その他の資産		
投資有価証券	20,006	20,006
繰延税金資産	836,939	841,639
その他	467,815	500,856
投資その他の資産合計	1,324,761	1,362,501
固定資産合計	2,649,333	2,499,367
資産合計	11,876,052	11,067,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	408,429	466,139
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,497,000	2,223,500
リース債務	961	640
未払金	1,473,273	1,307,632
未払法人税等	493,119	155,585
賞与引当金	133,286	72,939
その他	957,896	843,219
流動負債合計	6,063,966	5,169,658
固定負債		
長期借入金	522,000	365,500
資産除去債務	100,000	100,000
その他	146,781	163,221
固定負債合計	768,781	628,721
負債合計	6,832,748	5,798,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,906,870	1,906,870
資本剰余金	2,166,629	2,166,629
利益剰余金	1,104,196	1,427,527
自己株式	△214,692	△320,152
株主資本合計	4,963,004	5,180,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,311	20,311
その他の包括利益累計額合計	20,311	20,311
新株予約権	57,885	67,136
非支配株主持分	2,102	1,094
純資産合計	5,043,303	5,269,417
負債純資産合計	11,876,052	11,067,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,466,913	4,355,148
売上原価	3,185,395	2,774,992
売上総利益	1,281,518	1,580,155
販売費及び一般管理費	1,363,241	1,057,292
営業利益又は営業損失(△)	△81,723	522,862
営業外収益		
受取利息	346	674
請負受託料	-	3,400
出資金運用益	183	139
為替差益	-	3,529
その他	4	518
営業外収益合計	534	8,262
営業外費用		
支払利息	20,919	17,423
支払手数料	1,011	1,505
為替差損	4,484	-
営業外費用合計	26,416	18,929
経常利益又は経常損失(△)	△107,604	512,195
特別損失		
減損損失	1,563,462	-
特別損失合計	1,563,462	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,671,067	512,195
法人税、住民税及び事業税	20,975	193,092
法人税等調整額	106,304	△4,699
法人税等合計	127,279	188,393
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,798,346	323,802
非支配株主に帰属する四半期純利益	722	472
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,799,068	323,330

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,798,346	323,802
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△903	-
その他の包括利益合計	△903	-
四半期包括利益	△1,799,249	323,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,799,972	323,330
非支配株主に係る四半期包括利益	722	472

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	428,750千円	264,001千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,322,859	144,054	4,466,913	-	4,466,913
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,384	11,108	15,492	△15,492	-
計	4,327,243	155,162	4,482,406	△15,492	4,466,913
セグメント利益又はセグメント損失(△)	122,938	△204,661	△81,723	-	△81,723

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「ゲーム事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、前第1四半期連結累計期間において1,563,462千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ゲーム事業	コンテンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,145,254	209,893	4,355,148	-	4,355,148
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	-	1	△1	-
計	4,145,256	209,893	4,355,150	△1	4,355,148
セグメント利益又はセグメント損失(△)	793,771	△270,908	522,862	-	522,862

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。